研究テーマ コロナ禍における中国の労働環境の変化と工会の役割

所属 経済学部

講師 JINXIN
https://researchmap.jp/researchmap-kinkin

研究分野	労働経済学
キーワード	中国の労働環境、新型コロナウィルス感染症、在宅勤務、工会

研究室URL：

研究の背景および目的



本研究は、新型コロナウィルス感染症（以下、新型コロナと記す）の流行が、中国の経済、社会に大きな変容をもたらした中、①労働者の就業やウェルビーイング等の労働環境において、コロナショックによってもたらされた影響に関する属性間の差を分析し、②その属性間の差に、労働組合（以下、工会と記す）がどのような影響を及ぼしたかを検証することを目的としています。

■主な研究内容

本研究は、北京大学中国社会科学調査センターが実施した『中国家庭追跡調査（China Family Panel Studies: CFPS）』（2020-2022）の個票データを基にして、以下の研究内容を進めます。第1に、従来から景気後退に対する脆弱性が高いと指摘された労働者の属性（女性、農村戸籍の出稼ぎ労働者、大卒未満の学歴、非正規雇用者、飲食・宿泊といった対面を要するサービス業従事者等）に注目し、労働者の失職リスク、減収の度合い、労働時間の変化、在宅勤務の進み具合等に及ぼしたコロナショックの影響やそれらの影響に見られる属性間の差異を考察します。第2に、コロナショックの下、在宅勤務の進展度が減収の度合い、労働時間の変化、失職リスク、ウェルビーイングなどの要素に及ぼした影響を分析します。第3に、グローバリゼーションの下、工会制度をはじめとした労働関連法規の整備に伴う工会のボトムアップ機能の改善が進んだ一方、コロナショックに対する工会の反応を明らかにすることです。

期待される効果・応用分野

グローバリゼーションの進展によってもたらされた所得の不平等や社会の分裂の高まりは、コロナショックにより景気が後退した中において、弱い立場にある労働者が被る不利益を一層大きくすることが想定されます。本研究では、ゼロコロナ政策を実施した中国において、従来から景気後退に対する脆弱性が高いと指摘された労働者に対するコロナショックの影響や、新型コロナが拡大した中、中国の集団的な労使関係における工会の役割と機能の実態を解き明かすことが期待されます。

■共同研究・特許など

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/xin-jin/